



# おおくす



## 交通ルールを守ることは、命を守ること～交通安全教室～



講義では、クイズを交えながら、交通ルールや自転車に乗る時の注意を分かりやすく教えていただきました。また、ヘルメットの正しいかぶり方も教わりました。

続いて実際の歩行指導や、自転車を使った指導では、交差点へ入るときや道路を横断する時は、「止まって、周囲の安全確認をする」ことの大切さを徹底して教えていただきました。実際、子どもの事故の大部分は、止まって安全確認していれば、防ぐことができたものがほとんどだそうです。

今後も交通安全教室で学んだことを忘れず、交通ルールを守り、自分の命を守ってほしいと思います。

4月27日(月)、今年も交通安全指導員の方3名に来ていただき、交通安全教室を行いました。低学年、中学年、高学年と3回に分け、それぞれの学年に適した指導をしていただきました。



## 縦割り班で活動計画を立てて、楽しく遊びました ～遠足～



おかげで、雨もほとんど降らず、暑くならず、子どもたちは思い切り遊ぶことができました。

縦割り班での活動では、高学年がリーダーとなり、自己紹介を行った後、各班で「鬼ごっこ」「だるまさんが転んだ」「大縄跳び」などをして、みんなで楽しく遊びました。また、低学年の子が困っていると、班のみんなで優しく接する姿がありました。

5月8日(金)、全学年で遠足を実施しました。目的地は、昨年と同様、1・3・6年生は「箕田公園」、2・4・5年生は「楠緑地公園」でした。当日は大きな雨雲が近づいてきて、雨が降る確率が高く、雨具を持って出発しました。その後幸運にも大きな雨雲の塊が2つに割れ、箕田公園から楠緑地公園にかけての上空を避けて通過してくれました。



保護者の皆様には、遠足に際し、5月1日と8日の両日ともに、お弁当をお世話いただき、ありがとうございました。子どもたちは満面の笑みを浮かべながら、愛情のこもったお弁当をほおぼっていました。

# 行事を通じた非認知能力の育成 ～育てたい4つの力～

鈴鹿市では数年前から、非認知能力のうち、「やりぬく力」「自制心」「自己肯定感」「社会性」の4つの力を大切に育てていくことに取り組んでいます。

長太小学校でも、主に、行事を通してこれらの非認知能力を育成する取組を進めています。今回の遠足での「縦割り班活動」もその一つです。縦割り班では、ルールやマナーを守り、仲間と協力して活動することで「社会性」が育ちます。また、高学年はリーダーとしての自覚を持って活躍できたことや頼りにされたことで「自己肯定感」が高まります。さらに、班で考えた活動計画を完了し、みんなに喜んでもらったことが、「やりぬく力」につながっていきます。

これからも学校では、様々な行事を通して、子どもたちの頑張りを認め、褒め、非認知能力を育てていきたいと思えます。ご家庭でも、行事があったときなどは、その時の様子をお子さんから聞いていただき、頑張ったことや達成できたことなどを認め、褒めてあげてください。

## 保護者の皆様にお願ひ

### 学校への車での送迎について ～児童の安全確保のために～

学校への通学は、歩いて登下校することが原則ですが、お子さんの様々な事情で、やむを得ずお車で送迎していただいているご家庭もあるかと思ひます。

お車での送迎については、歩いて通学するお子さんとの接触を避けるため、体育館北側の駐車場①をご利用いただいておりますので、ご協力をお願いします。なお、緊急の場合や、児童の登下校が終わった後であれば、校舎北側の職員駐車場②を利用していただいても結構です。しかし、この駐車場は見通しが悪い場所があり、職員の車も出入りしますので、十分気を付けていただきますようお願いします。

また、児童の通学時間帯(7:50～8:15)に学校西側の狭い道路③を通られますと、通学中の児童と接触したり、学校近隣の住居から出入りされる車両と出合い頭に衝突したりする恐れもあり、大変危険です。子どもは、時に、予想外の動きをすることがあります。学校西側の道路を通る場合は、児童の登校する時間帯と重ならないよう、時間をずらし、細心の注意を払って送迎していただくようご協力をお願いいたします。

児童と、お車との事故については、学校は責任を負うことができませんので、事故の未然防止のため、児童の安全を最優先にお考えいただきますよう、お願いいたします。

